

## J H F 理事会議事録

日 時： 2008年2月27日(水) 12:00~17:00

場 所： J H F 事務局会議室 (豊島区巣鴨 3-39-4 東都ビル 2F)

### 1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長：菊池守男 議事録署名人：城 涼一 狩野智子  
議事録作成：桜井加代子

### 2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 内田孝也 大沢 豊 狩野智子 菊池守男  
下村孝一 城 涼一 松田保子  
【監事】對馬和也  
欠席【監事】市川 孝  
(出席理事8名。今理事会は定足数を満たし成立した)

### 3. 理事・監事の一言

内田会長： 2月4日に昨年のスカイレジャージャパンの最終実行委員会へ行って来ました。日本航空協会の湯浅副会長が2010年は航空100周年にあたる年なので盛り上げを図りたいとのことで、パラのアジア選手権も同じ年なのでそれに絡め盛り上げたいと思います。今年のスカイレジャージャパンは静岡県を予定して検討中とのことです。

下村常任理事： 第三者賠償責任保険に関して出席率の低い理事の件を懸念しています。

大沢理事： メール、ブログとか便利ですがうまく意思が伝わらない書き方があって問題になったりもします。自分でも気をつけたいと思います。

城常任理事： 公益法人について自分なりに調べています。一般的にみて新公益法人への移行は必ずしも容易ではないようです。新公益法人に移行するか否かについては、事務レベルの対応の前提として、正会員に総会で意思を確認する必要であると考えています。

狩野理事： 先日エリアでフライヤー登録期限切れの方がおりました。スクール、エリアでの年会費徴収、登録有効の確認をされているか。案内を出し対策をして理解を広めないといけません。

下村常任理事： それは確認しないスクールではなく、我々理事会、JHFの責任と思わないといけません。その為にも直接フライヤーに呼び掛ける唯一の手段であるスクール通信が必要です。

松田常任理事： 添石事務局長がいなくなり今は出来ないでおります。その代わりではないのですが、色々な情報をスクール・クラブに流す様にしています。

下村常任理事： 紙で出すのは大変なことです。受け取った方の半分はスクールの壁に貼ってくれたとして、フライヤーが見ることで大きな効果があり JHF と一体感が出て来る。

荒井理事： JHFを盛況にするには会員を増やす。PR活動が少ないのもっとやりましょう。あと機材が高過ぎます。私は大会なども新しく改革をしたいと思います。

#### 4. 審議事項

##### 第4-1号議案 2008年度予算成立までの収入支出について

内田会長： 2008年度予算が6月通常総会にて決定されるまでの間、定款第38条第2項に基づき前年度予算に準じて収入支出することの議決です。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、下村、城、松田

##### 第4-2号議案 2008年度パラグライディング競技ルールの改定について

大沢理事： 添付の資料にアンダーラインで改定箇所が明記されています。実情に沿う様に改定ということで特に問題はないと思います。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、下村、城、松田

##### 第4-3号議案 2008年度ハングシリーズルールの改正について

大沢理事： 1月理事会で保留になっていた1.HGシリーズ大会開催公認申請の簡素化と2.スコアリングシステム及びGPSソフトの運用変更の件です。ソフトは何とか使うことが出来ました。今後はCIVLでも統一したスコアリングシステムを採用すると決まっている様ですので、それを早く使える様になるとよいと思います。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、下村、城、松田

##### 第4-4号議案 2008年PG日本選手権開催地の承認について

議長： 開催地の承認ですが、AKAIWAエリアでの承認ですが、競技委員会から出ていますので委員会は承認済みということですね。

内田会長： 予算についてはどうなのでしょう。

議長： 予算はまだないのでしょうか。場所の承認だけです。

荒井理事： 今迄のやり方を改革して、大会に出る人の費用を減らしてあげたい。メジャーにする為に知事や市長に来てもらいテレビ局も呼びたいと思っています。

松田常任理事： 実行委員会は栃木県連がメインでやるのですね。

大沢理事： 大会実行委員長の荒井さんの後に「栃木県連理事長」と入れた方がよいです。あと、参加費用の「競技運営費は無料にする」の但し書きは無い方がよいのではないですか。

荒井理事： 参加費は無料にしてパーティーを豪華にやって商品も良い物を出してあげたい。

對馬監事： 実際の運営でそうしてもらって無料は入れない方がよいでしょう。

議長： では栃木県連に補助金を申請する際は必ず予算書をつける様をお願いします。

**採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、下村、城、松田**

#### **第4－5号議案 特別委員会設置の詳細案の承認について**

内田会長： 1月理事会で特別委員会の設置確認をしました。11月文書理事会で決まっていたことです。誰を委員に頼むかを任せられましたので4名の方に本人の承諾を得ました。委員長は神奈川県泉さん、あと以前監事の宮川さん、神奈川の中瀬さん、東京の井上さんが実務上のサポートです。一緒に承認していただきたいのは委員会の名前で「公益法人制度改革三法特別委員会」で、略称が「三法委員会」ということです。

松田常任理事： 今日発足で宜しいですか。

内田会長： お願いします。前回決議で基本的に会長直轄委員会になっていますが、やってくれる理事の方はおられませんか。

下村常任理事： 会長直轄がいいですよ。

城常任理事： 文部科学省に行くとか、講習会などは理事がいないとまずいこともあると思います。会長が行けない時のサポートに入ります。

**採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、下村、城、松田**

#### **第4－6号議案 安全性委員会・JHF事故データベース経費精算について**

議長： 安全性委員会の事故データベースの完了に伴い請求が来ました。安全性委員会の予算残額から支払いますので審議をお願いします。

下村常任理事： この支払いは1度ですね。

内田会長： ここに書いてある様に、今後の運用上の問題の修正、及びJHF事務局に移管する迄のサーバー利用料等を含むとあります。

議長： この審議の目的は予算を支払いますかということなので決議をお願いします。

**採決の結果、【賛成6 反対1 棄権0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、下村、松田**

**反対： 城**

#### **第4－7号議案 JHF広報出版部の廃部について**

松田常任理事： これは前回の協議事項でご説明しました。広報出版部が今ある事情を考えますと外部にいる部員が外部で色々やるには課されているタスクに無理が多く、事務局内部にいないとなかなか出来ない。事務局で広報出版の業務を行うことで整理したい。人数が限られておりますので私もお手伝いをするし今の部員にも手伝っていただけます。現部員の東野さんも定期的に事務局に来ていただくことになったので、要するに広報出版部の名前が無

くなるということです。

**採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、下村、城、松田**

#### **第4－8号議案 「空の日」の表彰の推薦について**

内田会長： 今年9月の「空の日」の行事から「空の夢賞」が新設されています。平成19年は東京工業大学のMeisterグループで、市販単三乾電池を使って有人飛行機を飛ばせたという人達に与えられました。

議長： 「空の夢賞」が追加になったということで、今後どなたか表彰出来るかなというプラスが出来ましたのでご承知して下さい。今回は推薦者なしということで承認をお願いします。

**採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、下村、城、松田**

#### **第4－9号議案 専門委員選任の承認について**

松田常任理事： 先週事務局の手伝いに来た時、教員・スクール事業委員会の小林さんが見えていました。小林さんが中心になって教員検定員研修検定会の段取りをされており、西ヶ谷さんに手伝ってもらいたいということです。本人も承知しておりこの検定会限定の専門委員としての承認です。

**採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、下村、城、松田**

#### **第4－10号議案 JHF 共済会総代会の選任の承認**

下村常任理事： JHF 共済会は止めることが決まっており、手続き上で承認する人達がないという形式ですので賛成でよいと思います。

對馬監事： 総代会監事として、今度のリース料支払いで現金残は0になります。その後は費用をかけず文書でやる様にしていきたい。過去の共済会はどの様になっていたか報告を作って総会で出すべきですと言っております。形式的には3月中に共済会総代会をもって解散を文書上でやっていけばいいのではないですか。

**採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、狩野、下村、城、松田**

## **5. 協議事項**

### **5－1 2008年度予算について**

下村常任理事： 委員長会議の決定を尊重するとして、どの位をどこに入れるかを決めてい

きたい。纏まらないのであれば2007年予算の95%ではどうでしょうか

議長： 予算概念としては、年々収入が減っていく段階では予備費、繰越金を少し余分に見ておいて突発には備えないといけない。正会員から個別の活動費、体験会とかの援助を欲しいということでした。総会で余剰金が出る段階で年度末にお支払いしますと返答していますから支払わないといけません。

下村常任理事： ハング、パラの予算配分は1:3位が妥当だと思います。

松田常任理事： ハングとパラの配分のことも問題ですが、競技というものに関してJHFはどのようなスタンスを取るのか、もう少し普及に力を入れましょうとか、ある程度分かってからではないといけません。

城常任理事： ハング・パラの予算配分について、単純に会員数だけを基準としては決められないと思います。例えば急速なパラ普及はハング関係者がそれまでに培っていた成果によるところが少なくない事実、またJHF組織の発展はハング関係者の貢献が大である事実などを軽視することは出来ません。このハング・パラの予算配分については、近いうちにじっくりと議論をして、正会員の賛同を得ながら基準を決める必要があると考えます。

原案をもとに、他討議内容の修正も加えて次回理事会にて再検討することとした。

## 5-2 JPMA への要望書

議長： これは保険の問題で、JPMAで事故がありJHFの保険しか加入していなかったので数千万円これから支払われるだろうということで、JPMAにも保険に加入してもらいたいという要望です。

下村常任理事： JPMAはJAAが統括団体として認めた団体ということで、JAAにも送る必要があります。

文章を推敲して再検討とした。

## 5-3 2008年度通常総会の日程候補の決定

候補を6月18、19、25、26日とし、会場の都合でいずれかの日に予約をして理事会に報告とした。

## 5-4 規定案（全3案）の制定について

内田会長： 3月の教員検定員研修検定会で、新しく検定員になった人達にこういう仕事はJHF規定に則っているということで、その規定です。

- ・ 事故調査について
- ・ エマージェンシーパラシュートのリパック
- ・ パラグライダー・アキュラシー審判員

現在調整中です。制度委員会より成案が出たら研修検定会に間に合う様に文書理事会にかけさせていただきます。

## 6. 報告事項

#### 6-4 事務局職員について

事務局長が不在となったが、以前から広報出版部の部長であった東野さんと雇用契約をし、運営を職員4名による交代制で軌道に乗ってきたことが報告された。

#### 6-7 2007年度事故概要

2007年1月から12月までの事故集計をしたものを配布。死亡事故が5件、補助動力付の死亡事故が他に4件起きた。

- 6-1 12月締めまでの2007年予算消化状況
- 6-2 現金・預金・郵便振替等残高明細
- 6-3 フライヤー会員登録・技能証発行実績
- 6-5 教員検定員研修検定会の申込状況
- 6-6 JHF委員申込状況・ボランティア登録状況
- 6-8 パラグライディング教本改訂作業の進捗状況
- 6-9 JHFレポート発行の進捗状況

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

\_\_\_\_\_  
(菊池 守男)

署名人

\_\_\_\_\_  
(城 涼一)

署名人

\_\_\_\_\_  
(狩野 智子)

議事録作成人：桜井加代子